

想定した品目

いちご(株冷・地床)

1. 技術体系の特徴

経営類型	家族労働力	品目・栽培型及び規模		経営・技術の特徴	
いちご(株冷・地床)	2人	いちご株冷		a	1. 品種「ゆめのか」 2. 地床栽培 3. 株冷処理による早期出荷 4. 炭酸ガス施用
		経営耕地面積	畑 10 a 水田 90 a	10	
経営目標	1 農業総収入	7,634	千円	4 1日当たり農業所得	12,927 円
	2 農業経営費	4,246	千円	5 1人当たり年間労働時間	1,049 時間
	3 農業所得	3,388	千円		

2. 資本装備と減価償却費

	種類・規模	数量	型式・構造・能力	所割有合	取得価格	耐用年数	年間償却額
					千円	年	千円
建物・施設	ビニールハウス	1	連棟標準型APハウス 1,000㎡	1	6,528	8	408
	高設育苗施設	1	一式 1,000㎡対応分	1	475	7	34
	重油タンク	1		1	157	7	11
	防油堤	1		1	184	25	7
	電照施設	1	電照施設一式	1	1,096	7	78
	予冷库	1	3坪	1	960	7	69
	作業及び収納舎	1	軽量鉄骨 70㎡	1	3,780	24	158
	選果作業室	1	選果室 15㎡	1	810	24	34
	農機具倉庫	1	軽量鉄骨 20㎡	1	1,080	24	45
		計				15,070	
農機具	トラック	1	軽トラック	1	917	4	115
	動力噴霧機	1	可搬式、防除タンク(500L)	1	268	7	19
	加温機	1	100,000kcl/h	1	1,037	7	74
	炭酸ガス発生装置	1	1600~1800㎡用	1	404	7	29
	多段階サーモ	1	加温機取り付け	1	92	7	7
	循環扇	1	一式 1,000㎡	1	176	7	13
	計				2,894		256

3. 技術体系(いちご 株冷)

(10a当たり人、時間)

作業の種類	栽培技術		作業体系				使用資材	技術の重要事項
	技術内容	作業時間	使用機械器具	組み作業人員	実作業時間	延べ作業時間		
(育苗) 親株植付け		11月上		2	12	24		雨よけ点滴高設育苗 プランタ使用 3株/1プランタ 専用親株 1000株 333鉢×3株
施肥		11月上		2	2	4	肥効調節型肥料	プランタ施肥量(親株) 基肥 1B化成5粒/株 追肥 1B化成4粒/株
親株管理	ランナー配置 かん水 病害虫防除	11月上～ 6月中	かん水施設	2 1 1	35 3 3	70 3 3		県病害虫防除基準による
鉢上げ	ポット準備 鉢上げ ランナー切断	6月上	トラック	2	58	117	10.5cmポット 10,000鉢	本葉2枚(発根初め)頃 に行う
管理	かん水 追肥 摘葉	5月上 ～8月上	かん水施設	2	62	124	置き肥	N成分 100～200mg/ポット
病害虫防除	耕種的防除	2月下 ～9月中	動力噴霧機	2	27	54		炭そ病の防除を行う
株冷入出庫	花芽分化促進	8月中・下 ～9月上・ 中	株冷施設	2	13	26		入庫前日にかん水を行う。 庫内温度:15℃以下 コンテナはリース
(本ぼ) 耕うん 整地	耕起整地	8月中	トラクタ	1	4	4		
土壌消毒		8月中	トラクタ	2	4	8		県病害虫防除基準
施肥	基肥施用 追肥施用	8月下 10月上 ～4月	トラック トラック かん水施設	2 2	2 1	4 2	堆肥 3t	全面施用 基肥成分量 N 10.0kg P ₂ O ₅ 6.0kg K ₂ O 2.0kg
定植準備	うね立て かん水施設 設置	8月下 9月中	管理機 トラック	2 2	4 3	8 6		

(10a当たり人、時間)

作業の種類	栽培技術		作業体系				使用資材	技術の重要事項
	技術内容	作業時間	使用機械器具	組み作業人員	実作業時間	延べ作業時間		
定植		9月上 ～下	トラック	2	29	58		10a当たり6,500株 栽植様式(2条)内成り うね幅:140cm 株 間: 22cm
マルチ		10月上 ～中		2	12	24		マルチはうね肩まで上げ 天井ビニール被覆後 下げる
保温準備	ビニール張り	10月中 ～10月下	トラック	4	9	36		暖房機の保守点検
管理	誘引 摘葉、玉だし 摘果	10月中 ～3月下		2 2 2	6 34 60	12 68 120		下葉かぎは古葉・黄化葉 等を中心に随時行う。 玉出しは着色向上のために必ず 行う。 摘果も品質向上のために行う。
交配	蜜蜂放飼	10月中～	トラック	1	2	2	蜜蜂	6aに一群
温度管理	保温、換気 炭酸ガス施用 下温処理	11月上 ～3月中 3月中・下	トラック 加温機 動力噴霧 機	1 2	73 2	73 4		二重カーテン設置 日中 午前 27～28℃ 午後 23～25℃ 夜間 5℃以上 下温処理 遮光資材、寒冷紗
かん水		9月上 ～5月下	かん水施設	1	25	25		定植後から十分にかん水を行 い、早期の活着を目指す。 また、栽培中はこまめなかん水 を行う。
病虫害 防除	薬剤散布 耕種的防除	9月下 ～5月下	動力噴霧機	2	25	50		県病虫害防除基準による
収穫出荷		11月上 ～6月上	トラック	3.5	337	1178		取扱は丁寧に行う 4月以降は品質向上のために 早朝どりを行う
後かたづけ		7月上	トラック トラクタ	2	10	20		
計						2127		

